

事務事業チェックシート

事務事業No
1015

事業名
情報教育ネットワーク設備整備事業（教育研究所）

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育研究所費		
	大事業	教育研究所事業		
中事業	情報教育ネットワーク設備整備事業（教育研究所）			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	教育研究所	竹内 圭 435-1192
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	小・中学校の児童生徒及び教職員がインターネット、電子メール等を利用し、情報の収集、蓄積、共有、発信の能力を身に付けられる環境を提供する。		教育情報ネットワーク「さいねっと」の拠点としての役割を担い、市内の小学校及び中学校のネットワークの管理を行うことにより、小・中学校における情報通信ネットワークの活用を図る。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	教育情報ネットワーク「さいねっと」の管理運用及び市内小・中学校における情報活用のための環境の提供。	教育情報ネットワーク「さいねっと」の管理運用及び市内小・中学校における情報活用のための環境の提供。	教育情報ネットワーク「さいねっと」の管理運用及び市内小・中学校における情報活用のための環境の提供。	教育情報ネットワーク「さいねっと」の管理運用及び市内小・中学校における情報活用のための環境の提供。	教育情報ネットワーク「さいねっと」の管理運用及び市内小・中学校における情報活用のための環境の提供。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	41,484	41,483	56,779	56,473	89,843	88,721	146,333	0	0	0
伸び率（%）	△29.6%	△27.4%	36.9%	36.1%	58.2%	57.1%	62.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,904	4,577	5,528	4,671	6,050	0	0	0	0
	正規職員以外	703	730	819	869	869	0	0	0	0
	小計	7,607	5,307	6,347	5,540	6,919	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	41,484	41,483	56,779	56,473	89,843	88,721	146,333	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.89	0.59	0.71	0.60	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.33	0.34	0.38	0.39	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	通信運搬費5,662千円、機械等借上料35,822千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各学校の情報担当者会議の参加者数	人	目標値	71	71	71		
		実績値	87	85	71		
		達成度(%)	122.5%	119.7%	100%	%	%
月平均掲示板活用実績	回	目標値	100	100	100	100	
		実績値	111	110	162		
		達成度(%)	111%	110%	162%	%	%
学校ホームページ開設数	校	目標値	71	71	71	71	
		実績値	71	71	71		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内全小・中学校における情報通信ネットワーク「さいねっと」の運用、管理の役割を担い、緊急時、システムに不具合が生じた場合の対応策に備え、システムの円滑な活用のための維持管理に務めている。
見直し・改善内容	次期機器更新に向けて、和歌山市教育情報ネットワークの拠点として、変化に柔軟に対応できるシステムの運用、管理方法の調査・検討を進めたい。